大学院特別講義のご案内

日時：　2026年　10月　29日（木）　17:30～19:00

場所：　第4講義室



講師：黄地健仁　博士

所属：東京歯科大学　生理学講座

演題：歯の発生から機能的再生へ ― 幹細胞と血管周囲ニッチが拓く可能性 ―

本講義では，大学院時代に取り組んだiPS細胞を用いた歯周組織を伴う歯の再生研究を出発点として，神経堤細胞，間葉系幹細胞，そして血管周囲のペリサイトへと展開してきた研究の歩みを紹介します．iPS細胞を用いた歯の発生研究では，歯胚様構造の形成が認められたものの，石灰化を含め，機能的な歯を安定かつ効率的に再生するには課題が残りました．そこで演者は，血管周囲ニッチに存在する幹細胞を同定し，その再生能力を活用して象牙質や歯周組織の修復・再生を促すことで，既存の歯とその支持組織を維持・保護する方向へと研究の軸を移してきました．

血管周囲ニッチに存在する幹細胞は，象牙質や歯周組織の再生にどのように関与するのでしょうか．演者は，幹細胞から象牙芽細胞への分化と象牙質の再生過程に小胞体（ER）ストレスが関与すること，また，歯周組織の幹細胞による組織再生に炎症性ケモカインや複数のニッチ因子が関与することを明らかにしてきました．本講義では，これらの研究成果を交えながら，幹細胞とその周囲の微小環境が織りなす再生機構について解説します．

歯胚様構造の形成から，歯と歯周組織の機能的な再生を目指す研究へと展開する中で，形態の再現にとどまらず，組織の機能をいかに回復させるかが重要な課題となります．本講義を通じて，歯の発生と再生を担う細胞の多様性への理解を深め，基礎研究の知見に基づく歯と歯周組織の機能回復の可能性について考察します．

問い合わせ先：（顎顔面口腔矯正学講座　山城・犬伏　2958）